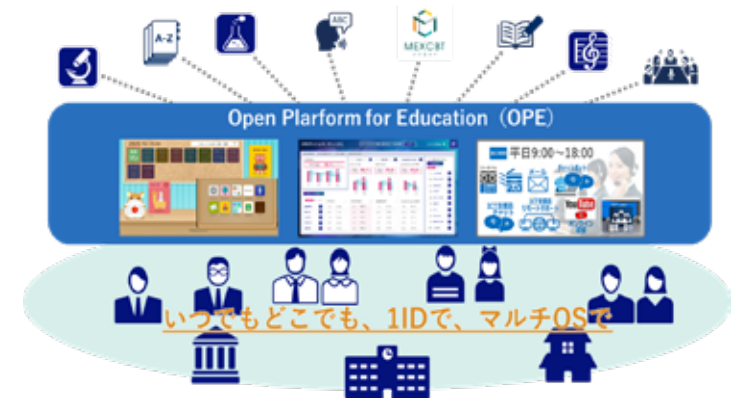




様々な学習コンテンツやツールをポータルから安全に利用でき、保護者問合せや1人1台運用サポートも加えたワンストップ教育プラットフォームです。

Open Platform for Education (OPE)

OPE は学習 e ポータルとして文部科学省の CBT システム MEXCBT を始め、Google や Microsoft のサービス、様々な学習コンテンツがシングルサインオンで利用できます。更に統合 ID 管理、利用履歴管理、保護者問い合わせや運用サポートまでカバーするサービスラインナップです。



サービスのベネフィット

- 既に学校で利用している教材、文科省実証で利用するデジタル教科書もポータルに登録し利用できます。
- ポータルに登録したアプリは利用実績が可視化、学校 ICT 全体の活用状況を把握することができます。
- 新規ご利用時には弊社で ID 発行を行ったり、Google / Microsoft アカウントによりシングルサインオン、連携アプリとの ID 同期など、お客様の導入や運用の負担を極力軽減します。
- 有料のサポートサービスにより、ご家庭からの問い合わせや、各種アカウント管理作業を弊社にて代行し更に運用負担を軽減します。

サービスのターゲットと効果

【GIGA 一人一台運用を行う教育委員会の方々】
複数のアプリケーションのアカウントを統合管理し、また問い合わせから運用代行までを担うサポートサービスにより、一人一台環境の運用負担を軽減することができます。

【個別最適な学び、協働的な学びを实践される先生方】

シングルサインオン機能により先生や子どもたちのアプリ利用の負担間を軽減。科目ごとにアプリを登録可能なポータルにより、児童生徒が必要な学びに集中できます。アプリケーションや MEXCBT の利用状況、活用状況可視化のダッシュボードを使うことで、一人ひとりの学習状況や苦手分野を把握し、次の指導に活かすことができます。

アカウント統合管理により、例えば 5 つのアプリケーションの年次更新作業を個別に行う場合と比較し、1/5 程度の業務負担で運用が可能です。ヘルプデスクサービスは ICT 支援員と比較し、1/4 程度のコストで教育委員会、先生、保護者の方のサポートができます。

※負担軽減値は目安です

サービスの利用事例

【ダッシュボード】

MEXCBT の活用を開始した A 市のある先生は、単元小テストで MEXCBT 問題の活用を始めました。OPE のダッシュボードで、クラス全体の正誤情報が一覧化出来るので、単元の中でどの部分の理解が不足しているかが一目瞭然となりました。ダッシュボードで得られた状況把握から、ピンポイントで振り返りを挟むことができ、子どもたちの理解定着を深めることができました。

【サポートサービス】

サポートサービスをご利用の B 市では夏休み前に端末の持ち帰り学習を開始しました。すると、ヘルプデスクにはご家庭から「自宅の WiFi に接続出来ない」「ログイン方法がわからない」などの問い合わせが多数寄せられました。ヘルプデスクでご家庭からの問い合わせ対応を行うことで、先生は本来の業務や子どもたちに向き合うことに集中することができました。

AWS 選定のポイント

- 迅速なサービスデリバリーのために、クラウドのスケラビリティと柔軟性が必要であったため。
- 多くのマネージドサービスが活用できるため、高い可用性を確保の上、コストを抑えた上でサービス開発・提供が可能であるため。